

さかいいっこ かけはし通信

No.9 2026.2 堺市幼児教育センター

「令和7年度 幼保小の架け橋プログラムに係る取組アンケート」へのご協力ありがとうございました。取りまとめ結果を一部紹介いたします。

相互参観について

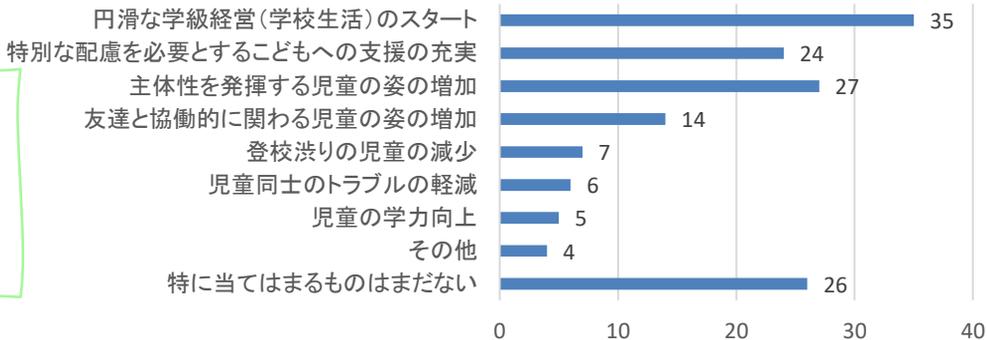
9割以上の学校園で相互参観を行った、もしくは3学期行う予定との回答があり、多くの学校園で相互参観が実現しました！！

相互参観を今後も是非継続したいという意見がたくさん寄せられました。

幼児期の経験や活動が小学校での学習に活かされていることを実感できた。主体的に自分で考えて行動する力を育てる大切さに改めて気づいた。(就学前施設)

「学びのコンパス」とのつながりが多く見られ、就学前教育との連続性を意識した指導の重要性を再認識した。(小学校)

【小学校】



意識や関わりの変化

1年目の取組ではあるものの、就学前施設で75%、小学校で53%が先生方の意識やこどもへの関わり方に変化があったと回答がありました。

相互参観で実際に見ることで、違いや共通点、つながりなどに気づき、それが保育や教育の充実につながっているようです。

音楽の授業では、こども園で行っていた活動をさらに応用する形で取り入れることができた。(小学校)

相互参観後、振り返りを共有することで、“こういうことを年長クラスでは取り入れたいね”“こういう不安が1年生にはあるから、どういったことを大切にしたらよいか”など、話し合うことができた。(就学前施設)

5歳だけ意識するのではなく、0歳から進めているこどもの育ちがあるからこそスムーズな接続につながることを同じグループの就学前施設と意見交換し共通認識できたことが非常によかった。(就学前施設)

生活科「あきをたのしもう」の単元では、秋見つけや葉っぱの遊びなど園での経験を意識し、発展的な活動ができた。また、園の先生の環境整備や準備の工夫なども参考になった。(小学校)

アンケート結果の詳細は、後日、各学校園に送付いたします。

来年度からは共通版「架け橋期のカリキュラム」の試行が始まります。今年度できた関係性を土台に、各連携グループの実態に応じて取り組んでいきましょう。

悩みやお困り事があれば、いつでも幼児教育グループまでご相談ください！

架け橋コーディネーターが支援します！ Tel:072-270-8120